



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社 ノーリツ
コード番号 5943 URL <https://www.noritz.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國井 総一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 竹中 昌之

TEL 078-391-3361

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

2019年9月20日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	95,528	△5.3	△535	—	△307	—	△956	—
2018年12月期第2四半期	100,839	△0.9	1,812	△41.0	2,532	△30.8	898	△67.8

(注)包括利益 2019年12月期第2四半期 △2,134百万円 (—%) 2018年12月期第2四半期 △240百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	△20.01	—
2018年12月期第2四半期	18.79	18.77

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	188,905	56.7	111,110	56.7		
2018年12月期	198,728	55.4	114,053	55.4		

(参考)自己資本 2019年12月期第2四半期 107,169百万円 2018年12月期 110,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2019年12月期	—	16.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	203,000	△3.3	1,500	△68.8	2,500	△60.1	1,100	△81.0	23.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) Noritz USA Corporation 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	50,797,651 株	2018年12月期	50,797,651 株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	2,973,629 株	2018年12月期	2,986,887 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	47,817,344 株	2018年12月期2Q	47,808,315 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関しましては添付資料のP. 3をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2019年8月8日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済減速の影響がみられるものの、緩やかな回復基調が続き、個人消費も雇用所得の改善を背景に増加しました。また海外経済においては、米国では減税による設備投資拡大や個人消費の拡大が景気を下支えたものの、米中貿易摩擦による中国市況の停滞が不安含みの状況となりました。

国内住宅関連業界におきましては、持ち家、分譲が増加したことから新設住宅着工戸数が前年を上回ったものの、住宅設備機器の更新需要が例年を大きく割り込む厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画『Vプラン2.0』の方針に基づき、国内事業の収益力の強化、海外事業の拡大に向けた取組みを進めています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高955億28百万円（前年同期比5.3%減）となりました。利益面につきましては、営業損失が5億35百万円（前年同四半期は18億12百万円の営業利益）、経常損失が3億7百万円（前年同四半期は25億32百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失が9億56百万円（前年同四半期は8億98百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 国内事業

当第2四半期連結累計期間の国内事業セグメントは、売上高が707億89百万円（前年同期比5.2%減）、セグメント損失が2億87百万円（前年同四半期は6億14百万円のセグメント利益）となりました。

温水空調分野では、新設住宅着工戸数が前年を上回る一方、需要の7割強を占める給湯器の取替需要台数が著しく減少する中、一昨年発売した「見まもり」「キレイ」機能を備えた主力商品「GT-C62シリーズ」を中心に高効率ガス給湯器「エコジョーズ」の販売を促進しました。

厨房分野では、昨年8月に発売した高級グレードのみに採用されていたマルチグリルを中級グレードへ展開した新製品「ピアットシリーズ」の販売に注力しました。また、グリル料理の楽しさを広める「毎日グリル部」の運営とあわせ、自動でグリル調理が可能なマルチグリルによるラク家事を提案し、ガスビルトインコンロの中高級グレードの拡販に努めました。

住設システム分野では、リフォームでの間口対応が可能なシステムキッチン「レシピアシリーズ」や、おそうじ浴槽を標準搭載したシステムバス「ユパティオシリーズ」でリフォーム需要獲得に向けた提案に取り組みました。更に、業務提携先トクラス株式会社へのシステムキッチン生産移管を進めました。

しかしながら、温水空調分野の販売台数減少の影響などにより国内事業全体では減収減益となりました。

② 海外事業

当第2四半期連結累計期間の海外事業セグメントは、売上高が293億13百万円（同5.3%減）、セグメント損失が2億48百万円（前年同四半期は11億97百万円のセグメント利益）となりました。

米国においては、市場成長並びに当年1月に買収した米国ボイラーメーカーPB Heat, LLCを第1四半期連結会計期間より連結したこと等から増収となりました。その一方で、最も売上構成比が高い中国においては、市況停滞により減収減益となりました。この結果、海外事業全体では減収減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産残高は、1,889億5百万円（前連結会計年度末比98億22百万円減）となりました。流動資産は、現金及び預金が減少したこと等により1,087億45百万円（同137億71百万円減）となりました。また、固定資産は、のれんが増加したこと等により801億59百万円（同39億49百万円増）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、支払手形及び買掛金が減少したこと等により777億95百万円（同68億78百万円減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,111億10百万円（同29億43百万円減）となりました。この結果、自己資本比率は56.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は310億44百万円と前連結会計年度末に比べ79億54百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得た資金は15億74百万円となりました。これは主に減価償却費34億11百万円および売上債権の減少額81億38百万円等による資金の増加、仕入債務の減少額47億27百万円およびたな卸資産の増加額15億97百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって支出した資金は86億円となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出54億34百万円および有形固定資産の取得による支出34億5百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって支出した資金は7億65百万円となりました。これは主に配当金の支払額7億64百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月10日に公表いたしました連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,278	31,358
受取手形及び売掛金	44,510	37,306
電子記録債権	13,154	12,356
有価証券	606	608
たな卸資産	20,077	22,549
その他	5,186	4,928
貸倒引当金	△296	△362
流動資産合計	122,517	108,745
固定資産		
有形固定資産	33,726	35,599
無形固定資産		
のれん	480	4,591
その他	6,467	6,233
無形固定資産合計	6,948	10,825
投資その他の資産		
投資有価証券	27,707	26,620
その他	7,986	7,250
貸倒引当金	△157	△135
投資その他の資産合計	35,535	33,735
固定資産合計	76,210	80,159
資産合計	198,728	188,905
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,398	35,108
短期借入金	800	987
未払法人税等	1,812	516
賞与引当金	656	315
役員賞与引当金	52	—
製品保証引当金	853	873
製品事故処理費用引当金	43	40
事業整理損失引当金	175	—
その他	18,841	17,499
流動負債合計	62,632	55,340
固定負債		
役員退職慰労引当金	56	63
製品保証引当金	2,548	2,370
環境対策引当金	188	59
退職給付に係る負債	14,212	13,790
その他	5,034	6,170
固定負債合計	22,041	22,454
負債合計	84,674	77,795

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,167	20,167
資本剰余金	22,956	22,956
利益剰余金	66,361	64,592
自己株式	△5,105	△5,082
株主資本合計	104,381	102,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,193	7,765
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	597	△270
退職給付に係る調整累計額	△3,159	△2,959
その他の包括利益累計額合計	5,630	4,535
新株予約権	93	92
非支配株主持分	3,948	3,848
純資産合計	114,053	111,110
負債純資産合計	198,728	188,905

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	100,839	95,528
売上原価	68,585	66,280
売上総利益	32,254	29,247
販売費及び一般管理費	30,441	29,782
営業利益又は営業損失(△)	1,812	△535
営業外収益		
受取利息	125	101
受取配当金	386	340
受取賃貸料	71	77
その他	342	112
営業外収益合計	925	632
営業外費用		
支払利息	10	69
固定資産賃貸費用	45	52
為替差損	89	96
貸倒損失	—	125
その他	60	60
営業外費用合計	205	404
経常利益又は経常損失(△)	2,532	△307
特別利益		
固定資産売却益	70	—
受取保険金	33	6
退職給付制度終了益	—	23
特別利益合計	103	30
特別損失		
固定資産処分損	32	30
減損損失	903	380
事業整理損	—	43
特別損失合計	935	454
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,700	△731
法人税、住民税及び事業税	894	219
法人税等調整額	△198	43
法人税等合計	695	263
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,004	△994
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	106	△37
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	898	△956

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,004	△994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△235	△428
繰延ヘッジ損益	6	0
為替換算調整勘定	△1,313	△912
退職給付に係る調整額	298	199
その他の包括利益合計	△1,244	△1,140
四半期包括利益	△240	△2,134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△176	△2,052
非支配株主に係る四半期包括利益	△63	△82

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,700	△731
減価償却費	3,210	3,411
のれん償却額	44	259
減損損失	903	380
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△217	△177
製品事故処理費用引当金の増減額(△は減少)	△35	△3
売上債権の増減額(△は増加)	8,839	8,138
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,033	△1,597
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,957	△4,727
法人税等の支払額	△1,402	△1,452
その他	△51	△1,924
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,999	1,574
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△41
定期預金の払戻による収入	434	24
有価証券の取得による支出	△4	△5
有価証券の売却及び償還による収入	200	500
有形固定資産の取得による支出	△2,937	△3,405
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△5,434
その他	△262	△238
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,570	△8,600
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	191
配当金の支払額	△765	△764
リース債務の返済による支出	△45	△176
その他	△1	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△811	△765
現金及び現金同等物に係る換算差額	△636	△352
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,980	△8,144
現金及び現金同等物の期首残高	34,283	38,999
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	189
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,264	31,044

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、新規設立したNoritz USA Corporationを通じて、PB Heat, LLCの全持分を取得したこと等により、新たに4社を連結の範囲に含めております。また、前連結会計年度まで非連結子会社であった株式会社テラ・テックは重要性が増したことにより連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

在外連結子会社では、第1四半期連結会計期間の期首より「リース」(IFRS第16号)を適用しております。当該会計基準の適用に伴い、当第2四半期連結会計期間末において有形固定資産が1,677百万円、無形固定資産のその他が1百万円、流動負債のその他が410百万円、固定負債のその他が1,261百万円それぞれ増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	71,542	29,297	100,839	—	100,839
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,107	1,644	4,751	△4,751	—
計	74,649	30,942	105,591	△4,751	100,839
セグメント利益	614	1,197	1,812	—	1,812

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	67,619	27,908	95,528	—	95,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,169	1,404	4,574	△4,574	—
計	70,789	29,313	100,102	△4,574	95,528
セグメント損失(△)	△287	△248	△535	—	△535

(注) セグメント損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。